

令和7年度 全道少年（U-12）8人制サッカー大会  
兼 第22回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 I N北海道 函館地区予選  
開催要項

- 1 主旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに、令和7年度 全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼 第22回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 I N北海道の函館地区代表として出場するチームを決定する。
- 2 名称 全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼 第22回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 I N北海道 函館地区予選
- 3 主催 函館地区サッカー協会
- 4 主管 函館地区サッカー協会4種委員会
- 5 期日 2024年9月7日（土）、8日（日）
- 6 会場 北斗市運動公園フットボール場。
- 7 参加資格
  - ① 「参加チーム」は、本年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームで小学5年生以下で構成されたチームであること。ただし未就学児の選手の参加は認めないものとする。
  - ② 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。また、うち1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格（D級以上）を有すること。（公認コーチ資格者が職務、公務、急な私用などで引率できない場合、必ず事前に大会運営担当まで連絡すること。）
  - ③ 「参加チーム」は必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
  - ④ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
  - ⑤ 本大会の優勝チームは、令和7年度全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼 第22回 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 I N北海道に函館代表として出場を義務づける。全道大会令和7年4月開催予定（会場未定）。全国大会令和7年5月開催予定。
- 8 参加チーム チーム編成は、指導者4名、選手16名以上20名までとする。
- 9 合同チーム 複数チームによる合同チームの参加は認められない。
- 10 競技規則 本年度（公財）日本サッカー協会制定の「8人制サッカー競技規則」および「サッカー競技規則2023/24」による。但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める
- 11 競技のフィールド
  - ① フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mとする。
  - ② その他ペナルティーエリア等の長さに関しては、8人制サッカールールに準ずる。

- ③ ゴールポストの間隔は5 m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15 mとする。※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
- ④ 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6 mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3 mずつ)

12 試合球 少年用4号球を使用する。(公認球) 各チーム持ち寄り

### 13 競技者の数および交代

- ① 1チーム常に8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ② 原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
- ③ 第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。試合前にメンバー表を提出する事とする。
- ④ 同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することは不可とする。(事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める) (延長戦はピリオドの数に含まない)

#### (1) 第1ピリオド

- ・ 予め決められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・ 交代する場合は交代要員が出場する。(交代要員：提出したメンバー表に印の付いていない選手)
- ・ 交代要員全員が事故・ケガなどで出場が困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場出来る。
- ・ 交代して退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない)

#### (2) 第2ピリオド

- ・ 予め決められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・ 試合中の事故・けがで交代する場合は交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場出来る。
- ・ 交代要員全員が事故・けがなどで出場が困難となった場合に限り、第1ピリオドに出場予定の選手が出場出来る。
- ・ 交代して退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない)

#### (3) 第3ピリオド

- ・ 第1、第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員も含め誰でも出場出来る。
- ・ 何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場出来る(=自由な交代)

#### (4) 延長戦

- ・ 交代要員を含め誰でも出場出来る。
- ・ 何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場出来る。(=自由な交代)

- ⑤ ゴールキーパーは、ボールがアウトオブプレーになった時に主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。交代して退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点から出なければならない。代わりに入るゴールキーパーは、交代ゾーンからフィールドに入る。
- ⑥ ゴールキーパーとフィールドプレイヤーの入れ替えは、ボールがアウトオブプレーになった時に、主審に通知し、主審の許可を得て入れ替えを行う。

### 14 競技者の用具

- ① 競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。
- ② 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ③ ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申し込みの際に記載し、試合ごとに必ず携行することが望ましい。(FP・GK用共)
- ④ 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。
- ⑤ ユニフォームの色・背番号の参加申し込み以降の変更は認めない。
- ⑥ ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づき承認された場合のみ許可する。
- ⑦ ビブスでの対応も許可する。(番号付きのビブス。番号は登録された選手固有の番号であること。前後に番号付きが望ましい。)
- ⑧ インナーについては、チーム全員が同色であること。(ゴールキーパーは除く。ユニフォームと同色でなくても良い)
- ⑨ 主審は対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。(ゴールキーパーのみ登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
- ⑩ ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーになる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみで良いこととする。また、その場合、ゴールキーパーは他の選手と判別のつくものであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくても良いものとする。

15 テクニカルエリア テクニカルエリアを設置する。

16 審判員 主審1名と補助審判1名が指名される。

#### 17 競技方法

- ① グループステージ(2グループ)を行い、各1位チームにて代表決定戦を行う。
- ② グループステージはグループ毎に総当たりを行う。順位決定は勝ち点(勝ち=3、引き分け=1、負け=0)、当該チームの対戦結果(勝ち点、特失点差、総得点の順)、グループ内での特失点差、総得点の順、決しない場合は抽選とする。
- ③ 36分(各ピリオド12分の3ピリオド制)とし、インターバルは第1・第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2・第3ピリオド間(第2ピリオド終了後から第3ピリオド開始まで)は5分とする。第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総入れ替えとし、第3ピリオドの選手は自由(交代も)とする。
- ④ 第3ピリオドの試合時間の12分は6分ハーフとする。コイントスをしてキックオフとサイドを決定し、前半6分終了後サイドを交代する。再開方法はキックオフとする。
- ⑤ 代表決定戦時に規定の時間内に勝敗が決しない場合、6分(3分ハーフ)の延長戦を行う。なお決しない場合はPK戦(ペナルティーシュートアウト)で勝者を決定する。(延長戦に入る前のインターバル:5分、PK戦に入る前のインターバル:1分。)

#### 18 警告・退場

- ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

- ② 本大会において退場を命じられた競技者、チーム役員は、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会の異なる試合において2度警告を受けた競技者、チーム役員は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、函館地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員の構成は、委員長、副委員長、大会担当者とする。

#### 19 帯同審判員

- ① 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員（4級以上）を帯同させること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。なお、監督が帯同審判を兼ねてもよい。また、参加申込書に記載されていない同一チーム内の他の指導者、保護者が審判業務を行ってもよい。

#### 20 開会式 行わない。

#### 21 閉会式 代表決定戦会場で行う。代表決定戦に残ったチームの選手・監督は全員参加することとする。

#### 22 マッチウェルフェアオフィサー 代表決定戦に配置する。

#### 23 その他

- ① 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの出場を停止する。
- ② 荒天、震災、雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断、中止することがあることを留意のこと。
- ③ 選手の保護者。チーム関係者のマナーの遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、ゴミ等）については、当該チームの責任とする。
- ④ 大会要項に規定されていない事項については（新型コロナウイルス感染の影響なども含め）、4種委員長、4種副委員長、大会担当者において協議のうえ決定する。
- ⑤ 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者数は2名以内とする。

#### 24 シード権 上位4チームには全日本少年フットサル大会、次年度のJFA U-12サッカーリーグ、全道(U-12)サッカー少年団大会の各函館地区予選のシード権を与える。優勝20P、準優勝10P、グループステージ2位に各5Pを与える。

#### 25 選手登録 別添ファイル（選手名簿）を期日までに、Eメールにて事務局 小川 謙 ul2.fahakodate@gmail.com まで提出する事。期日厳守。8月31日(金)17:00までとする。

#### 26 選手証 各チームの登録選手は原則として（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。各チームは大会初戦時前までに大会本部で確認するものとする。

※選手証とは（公財）日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧表を印刷したものを示す。大会用の背番号が明記されていること。

#### 27 参加料 5000円。各チーム初戦時前まで納入すること。